



品質への取り組み



製品の企画、開発から保守にいたるすべての段階において、
お客さまの信頼と満足を得る製品とサービスをタイムリーに提供します。

製品品質に対する考え方

当社は、1994年に品質方針を制定し、3つの重点指向を掲げ品質基準の統一に努めています。お客さまのニーズに対応し、信頼にお応えする製品とサービスを提供していくために、製品の企画段階から開発、調達、生産、販売、保守にいたるすべての段階において、徹底した品質活動を実施しています。

品質方針 お客さまの信頼と満足を得る製品とサービスをタイムリーに提供します

3つの重点指向

- 1 市場のニーズを先取りし、魅力ある製品開発を行う
- 2 源流で品質を作り込む
- 3 出会いの品質とアフターサービスを大切にする

魅力ある製品の開発

市場ニーズを先取りした製品開発

当社では金融、流通・交通、遊技、海外市場に向けた製品の開発を行っています。お客さまの多様なニーズにお応えし、さらにはニーズを先取りした製品開発を行うために、企画から保守までの各部門が緊密に連携し、お客さまにご満足いただける製品の開発に取り組んでいます。業務の効率化や厳正化ニーズへの対応に加え、ユーザビリティや環境への配慮など、より付加価値の高い製品づくりを目指しています。

高品質な製品のタイムリーな提供

高品質な製品をタイムリーにお客さまのもとへお届けするために、当社では二つの取り組みに注力しています。

まず一つ目は、先行技術開発です。製品開発にとりかかる前に不足している技術を洗い出し、その技術を確認させたうえで開発に反映させることで、スムーズな製品開発につなげています。二つ目は、技術のプラットフォーム化（共通化）です。重複した技術開発を削減し、効率的に開発を進めていくために、品質を確保した技術をプラットフォーム化し、共通の機能を要する製品に組み入れることで、コストダウンや開発期間の短縮を図り、安定した品質を保つ製品のスピーディーな提供に努めています。



製品開発の様子

利用者の視点に立った製品づくり

当社は、機能性だけでなく、お客さまの使いやすさを重視した製品の開発に取り組んでいます。その一環として、製品開発の初期段階から、製品の操作位置や視認性などを検証するユーザーテストを実施。早い段階で問題点を把握し、スピーディーな改善を行うことで、お客さまがより使いやすい製品づくりを目指しています。



ユーザーテストの様子

品質を支える若手設計者の育成

当社は、高品質な製品の開発を担う若手設計者の早期育成に取り組んでいます。

入社1年目から数年目の設計者が、当社製品の納品・設置に同行し、自身が担当する製品の実際の使い方やお客さまの声などを現場で確認する研修を実施。また、入社3年目の設計者を対象に、保守部門の社員を講師に、当社製品の分解や再組立、動作確認を行い、お客さまにとっての使いやすさやメンテナンスのしやすさなどを学ぶ研修なども行っています。



若手設計者研修の様子

最適なソリューションの提供

社会環境や時代の流れとともに変化するお客さまのニーズを確実に把握し、業務課題や運用形態を熟知したうえで、お客さまにご満足していただける製品やソリューションを提供することを目指しています。

近年、流通業界では慢性的な人手不足により、限られた人員で店舗運営を進められるよう、さらなる効率化・省力化が求められています。

当社では、顧客自身で精算を行う対面セルフつり銭機や券売機など、お客さまの店舗の状況に応じた豊富な製品ラインアップを有しています。さらには、レジや券売機などの売上データの収集や分析など、店舗経営を支援するサービスまで含めた最適なソリューションを提供し、社会やお客さまが抱える課題解決に貢献しています。

お客さま事例 ～オリジン東秀株式会社様～

オリジン東秀株式会社様は、従来のお持ち帰り総菜・お弁当に加えイトインスペースを設置し、レストランタイプの外食とお持ち帰りがメインの中食を融合させた新業態「Origin」をオープンされました。省力化や衛生面の向上など、オリジン東秀株式会社様のニーズに対応し、スムーズな運用を実現するご提案を行いました。

主なご要望

- 限られた人員で効率的な店舗運営を行いたい
- 現金に触れない衛生的なサービスを提供したい

お持ち帰り総菜・お弁当



対面セルフつり銭機

対面セルフつり銭機

- レジ待ち時間が短縮
スタッフが商品登録や袋詰めをしている間に、顧客自身で精算。
- 衛生面の向上
スタッフが現金に触れずに済むため、衛生的に食品を扱うことが可能。

イトイン



タッチパネル式券売機

タッチパネル式券売機

- スタッフの負担軽減
スタッフが介在することなく注文・精算が完了。スタッフは接客業務に注力。
- スピーディーな商品提供
注文と同時にオーダーが直接厨房へ伝わるため、オーダーミスが解消され、商品の提供時間も短縮。

Voice



オリジン東秀株式会社
第1タスク推進部
部長
鶴岡 信悟 様

現場で最も実感することは、「レジが混まなくなった」という点です。対面セルフつり銭機や券売機の導入により、注文や会計がスムーズに進むため、ピーク時でもお客さまをお待たせすることなく、快適に買い物や食事をお楽しみいただいていると感じています。レジに人手がかからなくなった分、接客業務やテーブルサービスに注力できるようになったうえ、お客さまとの間で金銭授受がなくなり、スタッフの精神的負担も軽減されました。また、以前は金銭授

受のたびにアルコールで手を消毒していましたが、その必要もなくなり、衛生面に配慮しながらも業務の効率化が図れています。

グローリーの製品は操作性がよく使いやすいため、お客さまにも安心してご利用いただいています。今後は、WAONなど電子マネーへの対応や外国人のお客さまにも分かりやすい表示など、さらなるサポートとバージョンアップを期待しています。